

『時事直言』 No.1617 2023年8月17日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] info@chokugen.com

[twitter 日本語] [t_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[twitter 英語] [T_Masuda_eng/](https://twitter.com/T_Masuda_eng)

[instagram] [t_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/



日本が勝てない対米戦争を決意した理由

時事評論家 増田俊男

右の写真は「真珠湾攻撃の真実、ルーズベルト欺瞞の日々」の本の写真である。

Day of Deceit(欺瞞)、The truth(真実) about FDR(ルーズベルト大統領) And Pearl Harbor(パールハーバー) (1999年文芸春秋)

著者ロバート・B・スティネットは米海軍所属であったことからルーズベルトと太平洋艦隊司令官との電話会話などの内部秘密の記録や米公文書館に保存されている真珠湾攻撃に関する情報を基に日本がいかに巧みに真珠湾攻撃に誘導されたかを克明に記している。

日本が対米戦争を決断する前に近衛総理大臣以下全閣僚と官僚、陸、海軍の上層部は日米経済、軍事力の大差を十分認識していた。

アメリカの国内総生産 5,312 億円に対して日本はわずか 449 億円、経済のコメである原油はアメリカ 22,295 万トンに対し日本はわずか 28 万トン。(90%輸入に依存)、航空機はアメリカ 26,277 機に対し日本は 5,088 機。

日本の相対的国力はアメリカの 10 分の1以下であり到底日本が勝てる戦争ではなかった。

「数字に国境はなく、嘘はない」。

ウクライナがはじめてからロシアに勝てないことが分かっている戦争をさせられているように、日本は初めから負けることが決まっている対米戦争に誘導されたのである。

では何故日本は負けることを承知で対米戦争を決断したのだろうか。

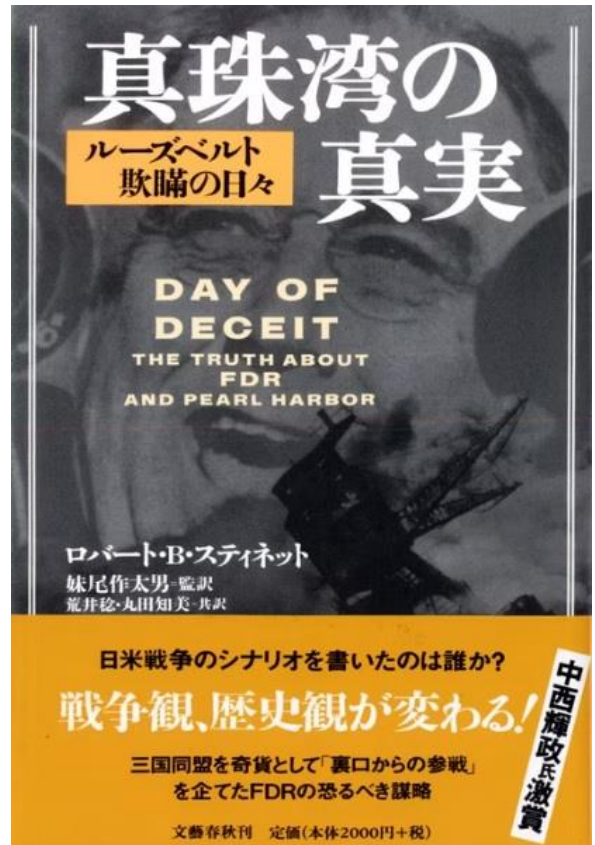
真の理由はアメリカの長年にわたる計略(日本をアメリカの属国にする)に嵌められた為であるが、表向きには二つの理由がある。

まずは、大本営の御用報道機関であった民間新聞社と公営 NHK ラジオ、さらに右翼系結社などが、「大和魂で 1 + 1 = 10 にすることが出来る」と自らと国民を信じ込ませたことにある。

「嘘でも国民が本当だと信じれば本当になる」のが政治の世界。

次は、アメリカが日本に東南アジア、中国からの日本軍全面撤退を要求した「ハル(国務長官)・ノート」である。

もしハル・ノートを受諾して、膨大な資金と兵隊の犠牲で占領した東南アジアや中国から日本軍が



撤退したなら、それまで国民を喜ばしてきた領土拡大を無にすることになるばかりか、「政権崩壊」に追い込まれかねない。

政権を担う日本の政治家も官僚も、強制されない限り(背中に短刀を突き付けられない限り)自ら権益を放棄することはあり得ないのである。

もとより対米戦争に対しては「外交を尽くせ」と言っていた天皇が、戦争に反対していた外務省や対米開戦に二の足を踏んでいた海軍の希望に沿ってハル・ノートを受諾すれば、青年将校たちと言えども天皇には逆らうことは出来なかつたはずである。

そうすれば広島・長崎原爆投下、無条件降伏、さらに日米安保で、米軍に日本の行政官区内の軍事行動の自由を持たれている(米軍の対日占領)ような今日の対米従属の日本にはならなかつたのである。

しかしこうした事態を避けられることがわかっていても避けられないのが日本の政治。

平和を願うのは理想、だが平和は待っていても来ないから勝ち取るしかない。

だから現実の世界史は「平和の為の戦争の歴史」なのである。

そして今日の核抑止力時代にあつては核を持つしか平和の実現はない！

日本の核保有は憲法第九条(マッカーサー憲法)で禁止されているから日本はアメリカの核の傘の下でアメリカの属国にならざるを得なくされている。

そして将来覇権がアメリカから中国に移れば、日本は又中国の属国になる。

日本独立の為にはマッカーサー憲法破棄、新日本憲法制定、日米安保改正又は破棄しかない。

しかしそれは終戦 78 年間アメリカに洗脳され続けてきた日本にとっては空想に等しいのである。

日本は強いものに媚びを売って、強者が落とした小銭を拾うことしか出来ないのだろうか。

私は四十七士の速水藤左エ門の末裔だから全身に「復讐の血」が流れている。

私はアメリカのシンクタンクでアメリカの国益の為に働きながら広島・長崎の「仇討ち」のチャンスを狙っている。

今のところ一人相撲であり、まるで風車小屋に玩具のような槍を持って立向かうドン・キホーテのようなものである。

不可能に近いが、私が生きている限り諦めるわけにはいかない。

日本人として私を応援したいと思われるなら、「インターネット目からウロコの増田塾」へ入会して下さい。

日本が独立出来る日の為にみんなで大儲けをし、何をすべきか共に語り合おうではありませんか。必ずチャンスは巡って来る！

大好評発売中！増田俊男の小冊子 Vol.135

『「資本の意志」を知ればすべてが分かる！』

現在増田俊男の小冊子 Vol. 135 は大好評発売中です。内容は、*イエス・キリストは「神の意志」を伝え、増田俊男は「資本の意志」を伝える *非情な「資本の意志」*「資本の意志」の伝道者 *「資本の意志」が求める Scrap & Build (破壊と建設) *アメリカ(ドル)最後の輝き *日本：待てば海路の日和かな *今時の「正しい投資法」などです。価格は、1冊 4,800 円(税・送料別)。詳しいご案内、お申込みについてはマスダ U. S. リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313、HP : <http://chokugen.com/>) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスダ U.S.リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313) までお知らせ下さい。